

ローマ字に関する国語施策関係年表

(「国語施策百年史」(文化庁)所収「国語施策年表」から抜粋し、一部補足したもの。)

【 : 終戦まで】

	国語施策関係	学校教育、各府省、関係者の対応等
慶応2 (1867)	12 前島密が「漢字御廃止之議」を将軍・慶喜に提出。 (1867.2)	
明治5 (1872)	5 森有礼のホイットニーあて書簡。(簡易英語をもって漢文に代える件。) 5 ホイットニーの返書。(簡易英語採用論の否定及びローマ字化の勧め。)	
明治7 (1874)	3 西周がローマ字専用を主張し、明六雑誌1号に「洋字ヲ以テ国語ヲ書スルノ論」を發表。一方、西村茂樹は同誌に「開化ノ度ニ因テ改文字ヲ発スベキノ論」を發表。	9 久保田譲が小学校でローマ字を教授すべきことを文部大臣に建議。
明治15 (1882)	4 矢田部良吉がローマ字専用を主張し、東洋学芸雑誌7・8号に「羅馬字ヲ以テ日本語ヲ綴ルノ説」を發表。	
明治17 (1884)	6 外山正一が漢字全廃を主張し、東洋学芸雑誌33号に「漢字を廃し英語を盛に興すは今日の急務なり」を發表。 7 外山正一がローマ字専用論を主張し、東洋学芸雑誌34号に「羅馬字を主張する者に告ぐ」を發表。	
明治18 (1885)	1 外山正一が「羅馬字会」結成。 3 羅馬字会がローマ字による日本語の書き表し方(後にヘボン式又は標準式と呼ばれるもの)を決定。 8 田中館愛橘が「理学協会雑誌」16巻に「羅馬字用法意見」を發表し、別のローマ字つづり(後に日本式と呼ばれるもの)を主張。	
明治19 (1886)	1 田中館愛橘が日本式ローマ字つづりを羅馬字会の総会に提出したが、否決。 5 田中館愛橘が羅馬字会から離れ、日本式ローマ字を普及するため、羅馬字新誌社を設立。	
明治33 (1900)	2 根本正ほか5名より衆議院に提出の「国字国語国文ノ改良ニ関スル建議案」可決。(16日) 2 辻新次等より貴族院に提出の「国字国語国文ノ改良ニ関スル建議案」は調査会を設けることに修正可決。(21日) 4 貴衆両院からの建議を実行に移すため、文部省が前島密、大槻文彦ほか5名を国語調査委員に任命。(2日) 4 第1回国語調査会開催。(16日) 11 文部省、上田万年ほか10名に調査を依頼した羅馬字書方調査報告發表。(5日) 反対論が起こり、実施されず。	
明治34 (1901)	5 文部省総務局図書課、「羅馬字書方調査報告」刊行。 (13日)	
明治37	11 国語調査委員会、「仮名字羅馬字優劣論比較一覧」發表。	

(1904)		
明治38 (1905)	12 「ローマ字専用論者の大同団結のため、「ローマ字ひろめ会」結成。(7日)	
明治39 (1906)		11 「ローマ字ひろめ会」が小学校教育にローマ字を課するように文部大臣に建議。(1日)
明治40 (1907)		1 衆議院本会議で「ローマ字ヲ日本ニ於ル一般小学校生徒ニ課スル建議案」可決。(23日) 6 「ローマ字ひろめ会」、小学校にローマ字を課することを文部大臣に建議。(6日)
明治41 (1908)	5 「ローマ字ひろめ会」、修正ヘボン式の採用決定。(16日)	
明治42 (1909)	3 「ローマ字普及ニ関スル建議案」、衆議院通過。(9日)	
大正 2 (1913)		7 中央气象台、地名の表記に日本式ローマ字採用。
大正 3 (1914)	9 日本式ローマ字の実行団体として、「東京ローマ字会」(日本ローマ字会の前身)結成。(14日) 10 田丸卓郎著「ローマ字国字論」(日本式ローマ字専用論の立場からの主張)刊行。	
大正 6 (1917)		9 陸軍陸地測量部、地図のローマ字書きに日本式ローマ字採用。
大正 9 (1920)		11 大審院、ローマ字投票有効の判決。(11日)
大正10 (1921)	1 日本式ローマ字の実行団体として「日本ローマ字会」結成。	
大正11 (1922)		7 海軍水路部、海図のローマ字書きに日本式ローマ字を採用。(8日)
大正13 (1924)		4 内務省、衆議院議員選挙にローマ字投票の有効を告示。(25日) 4 全国教育者大会、小学校の課程にローマ字を入れることを文部大臣に建議。(30日)
大正15 (1926)		12 「ローマ字ひろめ会」が鉄道の駅名のローマ字つづり方について、鉄道大臣に建白書(ヘボン式を改めないように要望)提出。(5日) 12 日本式ローマ字論の有志が鉄道の駅名のローマ字つづり方について、鉄道大臣に建議書(日本式に改めるように要望)提出。(18日)

昭和2 (1927)		<p>2 ヘボン式ローマ字論の有志が鉄道の駅名のローマ字つづり方について、鉄道大臣に建議書(ヘボン式を改めないように要望)提出。(24日)</p> <p>2 ヘボン式ローマ字論の有志がローマ字綴方調査会設置の必要を総理大臣と文部大臣に建議。(24日)</p> <p>3 「ローマ字ヲ小学校教科目中ニ加フル事ニ関スル法律案」が衆議院の委員会通過。(24日)本会議で審議未了。</p> <p>7 鉄道省、鉄道駅名のローマ字にヘボン式採用確認を通達。(2日)</p>
昭和3 (1928)		<p>6 海軍省、日本式ローマ字を採用。(7日)</p>
昭和4 (1929)		<p>9 陸軍省、日本式ローマ字を採用。(4日)</p> <p>12 日本ローマ字会、「駅名ノローマ字綴り方ニ関スル建議」(駅名のローマ字を日本式に改めるように要望)を鉄道大臣に提出。(3日)</p>
昭和5 (1930)	<p>11 臨時ローマ字調査会官制公布。(25日)</p> <p>11 臨時ローマ字調査会会長に文部大臣・田中隆三、委員に内閣書記官長・鈴木富士彌以下34名を任命。(26日)</p>	
昭和11 (1936)	<p>3 臨時ローマ字調査会議事録(上)刊行。(31日)</p> <p>6 臨時ローマ字調査会、ローマ字綴方表(ヘボン式よりも日本式に近いもの)を議決し、文部大臣に答申。(26日)</p> <p>6 臨時ローマ字調査会廃止。(30日)</p> <p>7 「ローマ字ひろめ会」が、臨時ローマ字調査会の答申に反対を宣言。(14日)</p> <p>8 「日本ローマ字会」が、臨時ローマ字調査会の答申に賛成を宣言。(23日)</p> <p>10 東京府英語教育会が、臨時ローマ字調査会の答申に反対の決議。(18日)</p>	<p>3 南洋庁、日本式ローマ字を採用。(3日)</p>
昭和12 (1937)	<p>3 田中館愛橘等提出の「ローマ字ヲ国字トスル請願」、衆議院から政府に回付。(12日)</p> <p>3 臨時ローマ字調査会議事録(下)刊行。(31日)</p> <p>9 「<u>国語ノローマ字綴方ニ関スル件</u>」内閣訓令3号で公布。(21日)</p> <p>11 「ローマ字ひろめ会」が訓令式ローマ字に反対し、総理大臣に改定を進言。(15日)</p>	<p>11 朝鮮総督府鉄道局、駅名標に訓令式ローマ字採用。(2日)</p>
昭和13 (1938)	<p>2 「日本ローマ字会」、ローマ字のつづり方を訓令式に統一。</p>	<p>1 文部省、旅券のローマ字つづりを原則として訓令式によるべきことを関係各方面に通達。(31日)</p> <p>2 「日本ローマ字会」、小学校の正課に訓令式ローマ字を入れることを衆議院に請願。(25日)</p> <p>3 鉄道省、ローマ字のつづり方を訓令式に統一。(8日)</p> <p>11 文部省図書局長、英語科の教授に訓令式ローマ字を用いるように関係方面に通達。(15日)</p>

昭和15 (1940)		3 「日本ローマ字会」の請願「国民学校二国定ローマ字ヲ課スル件」が衆議院で採択された。(8日)
昭和17 (1942)	4 文部省、英語科教科書のローマ字のつづり方を訓令式に統一。	
昭和20 (1945)		8 太平洋戦争終戦。(15日) 9 連合軍最高司令部が、駅・主要道路の名称を英語で表示する際にヘボン式ローマ字つづりを用いることを指令。(3日) 12 「国語協会」「カナモジカイ」「日本ローマ字会」が国字問題解決案を協議し、連合軍最高司令部へ提出。

【 : 昭和21年以降】

昭和21 (1946)		3 連合軍最高司令部の要請により、米 国教育使節団来日。(5日) 3 米教育使節団が連合軍最高司令部 に報告書(ローマ字の採用勧告その他を 含む。)を提出。(31日) 4 日本ローマ字会の有志が「ローマ字 運動本部」を結成。(5日) 6 「日本ローマ字会」と「カナモジカ イ」が漢字全廃に協力する共同声明を 発表。(5日) 6 ローマ字教育の実施に関する対策を 協議するため、文部省でローマ字教育 対策懇談会開催。(15日) 6 昭和22年4月から小学校・中学校にお いてローマ字教育を実施するための準 備として、文部省にローマ字教育協議 会設置。(29日) 10 文部省のローマ字教育協議会が「ロ ーマ字教育を行ふについての意見」「ロ ーマ字教育の指針」を決定し、文部大 臣に答申。(22日) 10 教育刷新委員会、昭和22年度から義 務教育の期間中にローマ字教育を実施 することを了承。(25日) 11 日本国憲法公布。(昭和22年5月3日施 行。)(3日)
昭和22 (1947)	12 文部省にローマ字調査委員会準備会設置。(5日)	1 国民学校でローマ字教育を実施する についての「文部当局談」発表。(20日) 2 「国民学校におけるローマ字教育実施 要項」が「国民学校においてローマ字教 育を行うについて」として、文部次官 から各地方長官・各校長に通達。 (28日) 4 新制度の小学校と中学校で、国語教 育の一部にローマ字教育実施。

		7 国定ローマ字教科書完成、配給。
昭和23 (1948)	1 ローマ字調査委員会準備会がローマ字調査委員会設置要 項決定。(29日) 10 ローマ字調査会規程(大臣裁定)を制定、議事規則を制 定。(12日)	5 ローマ字教科書の入用部数の調査。 (25日) 5 ローマ字教育に関する調査実施。 (25日) 5 「小学校ならびに新制中学校におい て児童・生徒のローマ字の習得状況調 査のために行う考査」の実施準備。 (27日) 7 文部省著作のローマ字教科書(小学 校用・中学校用、いずれも訓令式・ヘ ボン式の2種類)刊行。
昭和24 (1949)	6 ローマ字調査会廃止。(1日) 7 国語審議会令、ローマ字調査審議会令公布。(20日) 11 「ローマ字調査審議会委員及び臨時委員候補者推薦方 法」文部省告示。(30日) 12 ローマ字調査審議会第1回総会。(20日)	2 文部省著作ローマ字教科書2冊発行。 3 文部省著作ローマ字教科書6冊発行。 10 「ローマ字教育の効果測定に関する 調査報告」印刷。
昭和25 (1950)	3 ローマ字調査審議会、「改訂ローマ字教育の指針」を 議決、文部大臣に建議。(1日) 4 国語審議会令公布。国語審議会とローマ字調査審議会 を整理統合。(17日) 5 国語審議会のローマ字調査分科会審議会に「ローマ字 のつづり方」と「分ち書き」の二部会設置。(6日) 12 ローマ字調査審議会第1回総会。(20日)	3 「改訂ローマ字教育の指針」刊行。 (20日) 4 「ローマ字教育の指針」を具体化す るため、文部省に「ローマ字に関する 学習指導要領編修協議会」設置。(10日) 8 「改訂ローマ字教育の指針開設」刊 行。(15日) 9 第2次訪日アメリカ教育使節団が、連 合国最高司令部に報告書(ローマ字教育 その他を含む)を提出。(22日)
昭和26 (1951)		3 「ローマ字教育実験学級調査報告」 刊行。(31日) 6 ローマ字教育実験学級を指導するた め、文部省に「文部省ローマ字教育実 験調査研究会」を設置。(25日) 9 文部省、ローマ字教育実験学級を設 け、調査研究することを決定。(1日)
昭和27 (1952)	3 ローマ字調査分科審議会のつづり方部会が「ローマ字の つづり方」を、分かち書き部会が「ローマ字文の分かち書 きのしかた」を総会に報告。(10日) 4 国語審議会ローマ字教育部会、「国語教育におけるロ ーマ字の取扱について」を総会に報告。(14日)	3 「昭和27年度ローマ字教育実験学級 指導試案その 」刊行。(31日) 6 「ローマ字教育実験学級終末テスト の調査報告(昭和26年度)」刊行。(2日) 6 「昭和27年度ローマ字教育実験学級 指導試案その 」刊行。(12日)
昭和28 (1953)	3 国語審議会、ローマ字調査分科審議会の審議してきた「ロ ーマ字のつづり方」(訓令式を第一表とし、その他を第二表 とするもの)を総会で可決、「ローマ字つづり方の単一化に ついて」として文部大臣に建議。(12日)	2 「昭和28年度ローマ字教育実験学級 指導試案」刊行。(1日) 6 「ローマ字教育実験学級終末テスト の調査報告(昭和27年度)」刊行。 8 教育課程審議会、「小中学校のロー マ字学習に関する答申」(国語審議会の 建議に従う)を議決、文部大臣に答申。 (4日) 8 「小中学校のローマ字学習について」 が文部省初等中等教育局長・調査局長 から各都道府県教育委員会等に通達。

		(31日) 10 「ローマ字つづり方の単一化について」を各省庁で照会。(5日)
昭和29 (1954)	3 国語審議会各部会等が、「ローマ字教育について」「ローマ字のわかち書きについて」「標準語のために」「当用漢字表審議報告」「外来語の表記について」を総会に報告、文部大臣に報告。(15日) 12 「ローマ字のつづり方」内閣告示・内閣訓令。「国語ノローマ字綴方ニ関スル件」(昭12.9.21内閣訓令)廃止。(9日)	7 「ローマ字教育実験学級終末テストの調査報告(昭和28年度)」刊行。
昭和31 (1956)	7 国語審議会、「国語教育におけるローマ字教育について」を可決、文部大臣に報告。(5日)	
昭和32 (1957)		12 教育課程審議会第12回初等教育課程分科審議会(漢字、ローマ字について審議。)(21日)
昭和33 (1958)	11 国語審議会のローマ字調査分科審議会、「ローマ字調査分科審議会報告」を総会に報告。(18日)	
昭和35 (1960)		7 「小学校ローマ字指導資料」発行。(1日)
昭和36 (1961)	3 国語審議会のローマ字調査分科審議会、「ローマ字調査分科審議会報告」を総会に報告。(17日)	
昭和40 (1965)	12 国語審議会の総会が、国語の表記は漢字仮名交じりをもって正則とするという提案を取り上げ、これを当然のこととした。(9日)	
昭和41 (1966)	6 文部大臣、国語審議会に「国語施策の改善の具体策について」を諮問挨拶の中で、今後の審議に当たっては、「当然のことながら国語の表記は、漢字仮名交じり文によることを前提とし」検討願いたいと表明。(13日)	
昭和49 (1974)		1 「学術用語集」に用いてきたローマ字のつづり方を「ローマ字による学術用語の書き表し方」として発表。

【 平成期以降】

平成12 (2000)		12 文化庁、「外来語・外国語の取扱い及び姓名のローマ字表記について(依頼)」を関係各機関に送付。(26日)
令和元 (2019)		9 公用文等における日本人の姓名のローマ字表記に関する関係府省庁連絡会議設置(18日) 10 政府内で「公用文等における日本人の姓名のローマ字表記について(関係府省庁申合せ)」を申合せ。(25日)